

# 紫波町図書館と連携して 森のしごとは循環産業を紹介する 企画展示とトークイベントを行いました

林業技術センター普及班では、いわて林業アカデミー（以下「アカデミー」という。）の講義に『お山ん画』を活用するなど一般県民の皆様身近に林業を知ってもらう取組を行っています。

今回は、紫波町図書館（以下「図書館」という。）が企画・主催した森のしごとはを紹介する企画展示と『お山ん画』の作者らを招いたトークイベントの支援を行いましたので紹介します。

## \*『お山ん画』

林野庁の女性職員である平田美紗子さんが、現場で経験した内容を織り込んで森林・林業の題材を描いた漫画で林野庁発行の情報誌「林野」に掲載されていたもの。

## 1 企画展示

11月の一ヶ月間、森のしごとはにスポットを当て関連書籍や地域の活動団体の紹介、『お山ん画』を活用し



森林・林業の企画展示の様子

たパネルの展示を行いました。

図書館では、毎月一ヶ月間にわたり特定のテーマに沿った書籍を紹介する「企画展示」を行っており、今回はその一環として取り組んでいた

図書館のスタッフの方が直接アカデミー研修生にインタビューをされ、新たに林業技術者を目指す研修生の言葉も展示に活用されました。



アカデミー研修生の言葉を展示

さらに来館者が、より森のしごとはを身近に感じられるよう、県内の林業機械取扱店の御協力を得て、林業技術者が現場作業の際に着用する防護服やチェンソーも展示しました。

## 2 トークイベント

11月15日に図書館のフロアにおいて、『お山ん画』の作者らを招いてトークイベントを開催しました。



話し手の説明に聞き入る参加者

夜の7時半からの開始にもかかわらず、定員（50名）を大きく上回る79名の参加があり、森のしごとはに対する関心の高さを実感しました。最後に森の資源を守っていくためには伐ったら植える『循環』が大切であることを参加者の皆さんと共有しました。

## 3 おわり

普及班では、より多くの方々に森のしごとはを理解していただき、循環の担い手である林業技術者を目指す若者を支援する取組を続けていきます。

岩手県林業技術センター普及班  
019 (698) 1337